

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 現代陶芸美術館推進費（指定管理）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

現代陶芸美術館 総務部 管理調整係 電話番号：0572-28-3100（内103）

E-mail：c21802@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 50,326千円（前年度予算額：49,652千円）

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 49,652 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49,652 |
| 要求額 | 50,326 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,326 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

○現代陶芸美術館施設を維持管理するための経費

（2）事業内容

○セラミックパークMINO施設管理にかかる美術館負担金

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|------------------------|
| 負担金 | 50,326 | セラミックパークMINO施設維持管理費負担金 |
| 合計 | 50,326 | |

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
現代陶芸美術館施設を維持管理し、常に適正な状態にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業 開始前 | 指標の推移 | | 現在値 | 目 標 | 達成率 |
|-----|-----------|-------|-------|--------------------------|-------|-----|
| | | | | <small>(前々年度末時点)</small> | | |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

美術館の維持管理を目的としており、指標を設定するには適していない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - ・現代陶芸美術館の建物及び施設を維持管理する。

（前年度の成果）

- ・現代陶芸美術館の建物及び施設を維持管理できている。
- ・建物管理をセラミックパーク美濃に委託する事で、業務及び経費の削減が図られている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 美術館の維持管理を担う事業であり、館が存在している限りには必須である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | 館の適正な維持管理が図られており事業の効果が現れている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | 施設管理を公益財団法人セラミックパーク美濃に委託することにより、建物・施設管理が一元化され、業務の削減及び経費の削減が図られている。 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・美術館が存続している限り必要な事業であり、今後も継続して取り組んでいく。 <p>当館が県の重要な地場産業と連携し、現代の陶芸文化を発信していくためには、作品収集活動と展示活動を支える施設を整備することが不可欠である。当館の今後の展開のためにも、本事業は継続すべき事業である。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【○○課】 |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | |

